

図 薬剤師国家試験の受験者数、合格者数、合格率推移

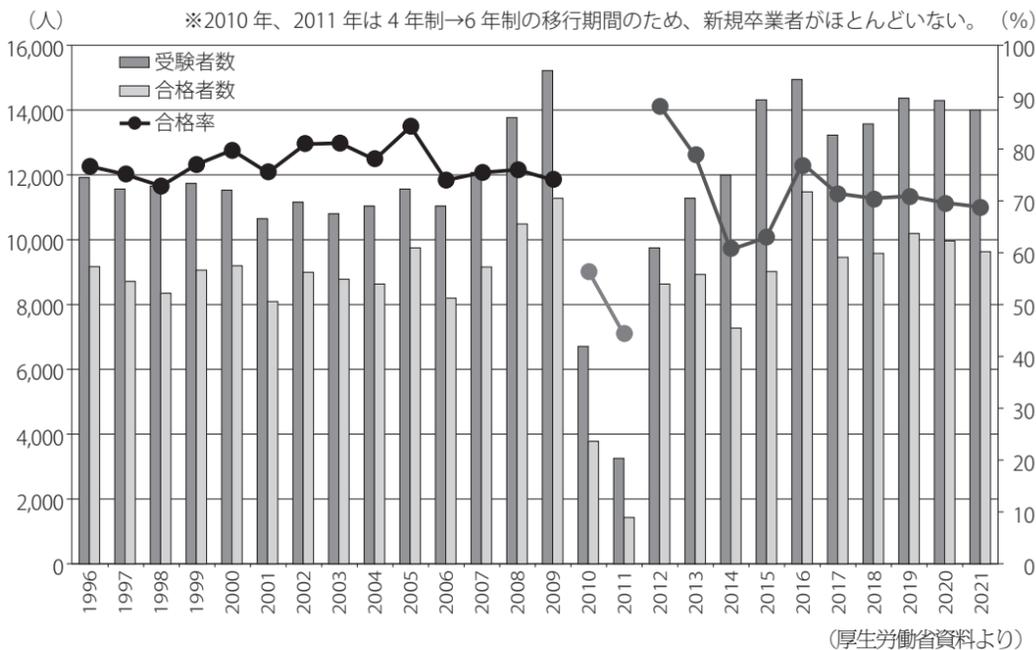


表 調剤医療費総額、処方箋枚数および処方箋1枚当たり調剤医療費

	実数			対前年度比 (%)			
	18年度	19年度	20年度	18年度	19年度	20年度	
全数	調剤医療費 (億円)	74,746	77,464	75,392	▲3.1	3.6	▲2.7
	処方箋枚数 (万枚)	84,361	84,284	76,484	0.6	▲0.1	▲9.3
	1枚当たり調剤医療費 (円)	8,860	9,191	9,857	▲3.6	3.7	7.3
電算処理分	調剤医療費 (億円)	74,279	77,025	74,987	▲3.1	3.7	▲2.6
	電算化率 (%)	99.4	99.4	99.5	-	-	-
	処方箋枚数 (万枚)	83,930	83,869	76,135	0.6	▲0.1	▲9.2
電算処理分	電算化率 (%)	99.5	99.5	99.5	-	-	-
	1枚当たり調剤医療費 (円)	8,850	9,184	9,849	▲3.7	3.8	7.2
	電算処理分/全数	0.999	0.999	0.999	-	-	-

注1 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。
 注2 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。
 注3 「全数」とは、医療保険及び公費負担医療で支給の対象となる医療費 (患者負担分を含む) のうち、審査支払機関による審査分 (再審査分等調整前) を集計対象としたものである。

藤井もとゆきの ひとり言



その時までの過去のデータを基礎とし、解析し、将来を見通そうとするものです。検討された時々の状況や計算方式の違い等から各推計の示す将来像は微妙に異なるものになっていきます。例えば2020(令和)

薬剤師の需給推計(7)

国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、患者の受診抑制の影響は当然医薬分業にも及び

は、直近の薬剤師届け出(18年12月末)を基準に年齢上限を80歳とし、20年32・0万人と算出しています。その2年前の18年度報告および12年度報告は、共に過去の薬剤師国試合格者数の経年推移を算出し、足下の薬剤師数としては17年度36・8万人、10年度33・7万人としました。明らかに20年推計とは異なる数値でした。しかし、既にお示し

たように今回引用した過去のすべての薬剤師需給推計は、薬剤師供給過剰を指摘しました。6年制教育を受けた薬学1期生が卒業したのが12年。薬学部入学生志願者の減少が進む中にもかかわらず、21年までの10年間の国家試験合格者数は9万4263人に達しています(図参照)

新・薬剤師需給推計を19(令和元)年末、中

ンデミックとなり、世界中で猛威を振るうこととなりました。感染者数は2億5000万人を超え、死者数は500万人を数えます。第5波の感染が収まりつつあり、患者発生等は低く抑えられているわが国においてもコロナウイルス感染症数は170万人を超え、死者数は1万8000人を超えます(今月10日現在)。そして医療面においては自粛生活が要請される国民の受診抑制が顕著になり、特に外来

厚生労働省発表の「令和2年度医療費の動向」概算医療費の年間統計によれば、医療費は前年度比3・2%減の42・2兆円と過去最大の減少を記録しました。調剤医療費も2・7%減の7兆5392億円、14年以降8億枚台を記録していた処方箋枚数は9・3%減の7億6484万枚まで低下しています(表参照)。21年度も引き続き受診抑制が報じられており、平成の時代とは異なる様相を呈して推移しています。

コロナ禍が受診行動等に变化をもたらしたのは事実でしょう。在宅診療が増加し、オンライン診療、オンライン服薬指導の実施が前例とされることになりました。薬剤配送コスト対応も考慮され、ドローンの使用も検討されています。インターネット上の薬局「サイバー・ファーマシー」が具現化する時代が来るかもしれません。そのような時代に、薬のプロ「薬剤師」の職能はどう進化していくのでしょうか。

今後とも、医療や社会的要因の変化に応じて、一定のインターバルでの薬剤師需給推計の継続的実施、そのための研究システムは必須のものであり、新たな薬剤師需給推計を元に、より適切な政府施策の決定が行われるべきと考えます。

令和の分業はコロナ禍による量的拡大の停止状況を迎えました。今こそ、その質的向上、「患者に優しい分業」構築に向け、注力すべき時でしょう。6年制薬剤師教育は主として医療人たる薬剤師養成を目的とした

カラーで読みやすい！
図表で理解できる！



カラー図解

よくわかる薬機法

医薬品販売制度編

第2版

編集 株式会社ドーモ B5判/262頁/定価 2,750円 (本体 2,500+税)

- 医薬品医療機器等法(薬機法)の中から医薬品の販売制度にスポットをあて、初学者でも理解できるようにわかりやすく解説。
- 令和元年12月公布の薬機法改正を反映して改訂。(令和3年8月施行分まで対応)

《もくじ》

- 第1章 医薬品の分類
- 第2章 薬局と医薬品の販売業
- 第3章 薬局・医薬品の販売業の業務体制
- 第4章 医薬品の販売と情報提供・指導
- 第5章 特定販売
- 第6章 市販後安全対策と添付文書



書籍の詳細・ご注文はURLまたはQRコードから薬事日報社オンラインショップへ ⇒ <https://yakuji-shop.jp/>